

小松ロータリークラブ会報

2023～2024年度 国際ロータリーテーマ



CREATE HOPE
in the WORLD
世界に希望を生み出そう

- ◆ 会長：大畑 清三 ◆ 副会長：橋浦 隆
- ◆ 会長エレクト：澤矢 豊伸 ◆ 幹事：齋藤 典子
- ◆ クラブ会報委員会 委員長：宮城 香織
委員：石田 拓也・名徳 隆嗣・東 昭裕

第6号
2024.1.25

事務局 〒923-0957 石川県小松市本折町33 アパホテル<小松グランド>2F
TEL: 0761-24-1340 FAX: 0761-24-4700
E-mail: office@komatsu-rc.jp
URL: http://komatsu-rc.jp/



ごあいさつ



2023～2024年度
小松ロータリークラブ 会長 大畑 清三



12月は「疾病予防と治療月間」です。風邪は万病の元と言われますが、どんな病気でも早期治療が大切です。わが国は世界一の長寿国です。2022年の65歳以上の高齢者人口は3,627万人と、総人口の29.1%を占めています。また、65歳以上の認知症の発症者数は600万人とも言われています。わが小松RCも65歳以上の会員は21名（令和5年12月末現在会員50名）います。実に会員全体の42%を占めています。12月号のロータリーの友では、福井東RCが取り組んでいる「認知症の人も家族も安心できる地域づくり」をテーマに、会員の精神科医の貴志英生先生を中心に毎年、“アレンジハート運動”を展開しています。

12月の例会は3回ありました。14日の北陸電力小松支店長の奥真司会員は、昨今の電力事情と来年3月の北陸新幹線開業後のJR小松駅前の開発を進めているとの報告がありました。中でも小松北電ビルの2025年夏の開業が待たれています。開業が遅れることなく予定どおりに開業してほしいと思います。

17日は昨年に引き続き、ひとり親家庭パントリー事業でロータリー財団補助金事業の一環としてわがクラブも協賛し、第一地区コミュニティセンターで行われた「おやこクリスマスパーティー」では、親子35組の約100人が参加して楽しみました。参加した小松クラブ会員もサンタクロースに扮して、子供たちにケーキをプレゼントし喜ばれました。

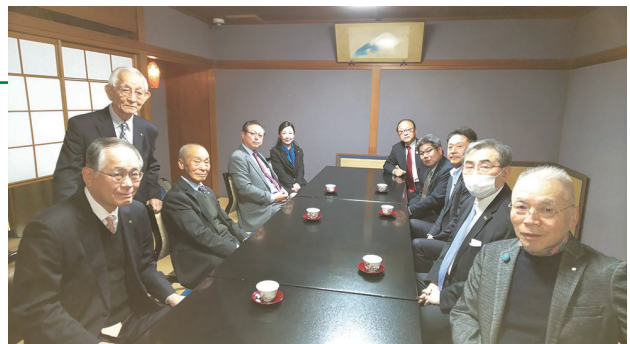
23日は、恒例の年忘れ家族クリスマス例会があり、会員・家族約70名が出席して山代温泉の「ゆのくに天祥」で行われ、それぞれが1年間の思い出を語り合いながら楽しいひと時を過ごすことができました。そして来年は辰年です。6回目の年男としては、昇龍の如く飛躍を誓い合いました。

パスト会長会

12月4日(月) 一浪

【参加者】

湯浅外志男、中田一於、西 正次、中川公三
中橋勝美、蓮井正樹、福島 徹、数左従光
寺田英夫、徳田八十吉、大畑清三



★大畑 清三会長 挨拶・報告

★幹事報告 12月1日よりロータリーレートが1\$147円に変更(149円より変更)

★第30回全国花のまちづくり小松大会について 小松市緑化公園課

★ゴルフ同好会 会長賞 山崎 輝芳会員

★年次総会 次年度3役発表

2024~2025年度(副会長・幹事)承認

2024~2025年度 役員

- ・会 長:澤矢 豊伸
- ・副会長:南井 浩昌
- ・幹 事:後藤 充



代表挨拶:澤矢豊伸会長エレクト



山崎 輝芳会員

例会報告

第3305回 2023.12.7(木) アパホテル<小松ブランド>
会員数 50名・出席数 29名・欠席数 21名・出席率 58.00%

★メーカーアップ届

- 11/30 家庭集会 数左、齋藤、奥、名徳、押野、山本有二、上出、東 昭裕、寺田、松多、福島、徳田、高野、後藤、澤守
- 12/2 第4回地区米山奨学会委員会 高木 ・面接官オリエンテーション 高木 ・米山年末懇親会 高木、湯浅
- 12/4 パスト会会長 湯浅、中田、西、中川公三、中橋、蓮井、福島、数左、寺田、徳田、大畑



大畑清三、徳田八十吉
澤矢豊伸、齋藤典子

●第3306回(2023.12.14)
会員卓話要旨

電気事業を取り巻く環境変化と
当社グループの取り組みについて



奥 真司 会員

北陸電力株式会社
小松支店 支店長

1. 電気事業を取り巻く環境

エネルギー自給率(約1割)が低い日本においては、安全を前提とした上で、以下の3つのE(安定供給 Energy security・環境性 Environment・経済性 Economical efficiency)の同時達成を目指すことが重要です。そうした中、東日本大震災以降、全国の原子力が停止して電気料金は上昇。その後、化石燃料の価格下落により一時的に低下しましたが、ウクライナ侵攻を契機に再び化石燃料価格が上昇、電気料金も大きく上昇しました。これから冬場にかけての価格高騰リスクも想定されます。そして脱炭素に向けた動きが活発化していることも最近の大きな変化と言えます。日本は2020年10月に菅首相(当時)が「2050年カーボンニュートラル(CN)」を宣言。再エネには広大な土地が必要であったり、天候に左右され発電が不安定であったりするなどさまざまな課題があります。国が2012年に導入したFIT制度により大きく再エネは普及しましたが、お客さまの賦課金負担も過大に。今後は再エネの最大限導入と国民負担抑制の両立を図ることが課題です。

2. 北陸電力の取り組み

当社グループはCN実現に向けてさまざまな取り組みを行っています。供給面では①原子力の最大限活用 ②石炭火力のバイオマス混焼拡大等によるゼロエミッション化 ③洋上風力や水力発電の出力増等による再エネの主力電源化。需要面では法人お客さ

ま向け太陽光発電PPAの提案、家庭お客さまには、太陽光と蓄電池のセットやエコキュートの定額払い契約の推進などに積極的に取り組んでいます。

3. 志賀原子力2号機の審査状況について

発電所敷地内の断層について、2016年に「活断層と解釈するのが合理的」との指摘を受けて以降7年経過しましたが、2023年3月にようやく「活断層ではない」という当社主張が国に認められました。現在は、敷地周辺断層の審査に対応中。今後は耐震設計の目安となる地震の大きさや各種影響評価などの審査に対応。2026年3月の再稼働を目指していきます。

4. 当社の電気料金について

東日本大震災直後、電力他社が相次いで原子力停止を理由に料金値上げを断行する中、当社は豊富な水資源と経済性に優れた石炭火力により、値上げをすることなく厳しい経営環境の中でも耐えてきました。しかし、ウクライナ侵攻を契機とした化石燃料急騰により、今年2023年に値上げをお願いするに至りました。これは、値上前の料金が原子力稼働を前提とする一方、実際には停止しておりその不足分を火力発電で賄っていること、かつその火力発電の燃料価格が著しく急騰していることで当社収支が悪化したことが主な理由です。燃料費調整制度は、3~5ヵ月前の3ヵ月間の平均燃料価格と基準となる燃料価格の差を基に毎月算定されます。すなわち、燃料費の変動は3~5ヵ月程度遅れて電気料金に反映されることとなります。こうした仕組みによって、23年度上期決算においては「燃料費が安い」一方で「燃調収入が高い」ということになり、期ずれ影響として当社に差益が発生。これは正に「一過性の利益」。仮に燃料価格が再び上昇局面に入れば、あっという間に差損が発生する可能性があるということです。

5. 小松駅東地区複合ビルについて

本ビルの建設については、現在栄町にある老朽化した当社小松支店事業所の建替え計画を検討する中で、小松市の「学びのエリア」形成構想や新幹線小松駅開業と組み合わせることにより、駅前の賑わい作りを中心とした地域発展に寄与できるのではないかとこの考えから生まれたものです。昨年、コロナ影響による社会環境の変化を受けて、本計画を一旦立ち止まって考えることになり、この間地域の皆様にはご心配をおかけしましたが、地元関係者とともに協議会を立ち上げて1年間かけて本ビルの持続的な運営や仕組み作りの検討を行ってきました。そして、地域の皆様からビルに対する大きな期待と熱意をいただき、2023年4月に建設を正式決定、9月に着工して、2025年夏に竣工の予定であります。外観デザインは、建設予定地の駅周辺が古く弥生時代から水上交通を中心とした交通の要衝として、多くの人が集まり経済や文化を牽引してきた土地であることを踏まえて、「北前船」のフォルムをイメージしています。そして2階には南加賀最大級の多目的ホールを整備します。どうか皆様にもたくさん使っていただきたいと思っています。

6. 最後に

当社は、今から125年前の1898年に創業した北陸初

の電力会社である富山電燈株式会社をはじめとする複数の地元資本の電力会社が礎となって、1951年に創立しました。富山電燈株式会社や金沢電気株式会社、京都電燈株式会社福井支社が創立された1900年頃は、北陸地域の豊かな水を活用した電源開発が行われ、水力による低廉な電力を武器に、鉄鋼やカーバイド等の電力多消費産業や繊維工業を誘致して北陸の産業発展を後押ししてきました。その後、第二次世界大戦が終わると新たな日本の電力供給体制が検討されましたが、当初案では全国を8ブロックに分けて北陸は中部エリアに含まれる計画となっていました。しかしながら、後に当社初代社長となります山田昌作氏による北陸の独自性の国への粘り強い働きかけに加えて、地元経済界からの強い後押しもあって、北陸エリアの独立が認められた結果、1951年に当社が誕生しました。まさに地域の皆さまが当社を生んだと言っても過言ではありません。

こうした経緯があるからこそ、当社は「北陸地域との共存共栄」を経営の根幹に据え、電源開発等の幾多の困難な事業にも果敢に挑戦し、低廉で良質なエネルギーの安定供給を通じて北陸地域とともに歩んでいくことができました。今後もこの精神は変わることはありません。皆さまとともに進化・発展を続け、地域や社会・お客さまの課題解決やニーズ実現に微力ながら貢献していきたいと考えています。

例会報告

第3306回 2023.12.14(木) アパホテル<小松グランド>
会員数 50名・出席数 29名・欠席数 21名・出席率 58.00%

ニコニコBOX

大畑清三、徳田八十吉
澤矢豊伸、齋藤典子
中橋勝美、中田一於
山崎輝芳、元 良典

★メイクアップ届

12/7 第12回定例理事会 大畑、徳田、澤矢、橋浦、齋藤、山本省五、杉本、後藤、押野、南井、福島、中橋、山本有二
12/12 第6回ミニフォーラム 南井、後藤、数左、元、中田、西、大畑、齋藤、徳田、山本省五、湯浅

第3307回 2023年12月23日 年忘れ家族例会

山代温泉「ゆのくに天祥」

例会

18:00~

司会：山本 有二 副幹事
開会点鐘：大畑 清三会長
ロータリーソング「奉仕の理想」
R1テーマ「世界に希望を生み出そう」
会長挨拶・報告：大畑 清三会長
幹事報告・各委員長報告・出席報告
ニコニコBOX
閉会点鐘：大畑 清三会長

懇親会

18:25~

司会：福島 徹 親睦委員長
開宴挨拶：大畑 清三会長
乾杯：橋浦 隆副会長
ハンドベル ミニ演奏会
パルーンショー：パルーンのぶんちゃん
大抽選会：親睦委員会
中締め：澤矢 豊伸会長エレクト
閉宴：手に手つないで



例会報告

第3307回 2023.12.23(土) 山代温泉「ゆのくに天祥」
会員数 50名・出席数 28名・欠席数 22名・出席率 56.00%

ニコニコBOX

大畑清三、澤矢豊伸、齋藤典子
新滝淳子、杉本雅規、福島 徹
山本省五、元 良典、南井浩昌
山崎輝芳

★メイクアップ届

12/9 米山奨学生選考面接試験 高木
12/15 中学校職業アドバイザー派遣推進事業(中海中学校) 川本
12/16 地区IAC委員会・IA台湾研修旅行 第1回事前研修会 上原
12/17 小松市母子寡婦福祉協会 おやこクリスマスパーティ 大畑、橋浦、後藤、高野、名徳、山本有二、齋藤

小松RCでは、2015年から市内の中学校に職業アドバイザーを派遣しており、中海中学校へ会員企業から3人の講師を派遣して、職業講話をしました。



【アドバイザー】

【企業名】

- ・川本 樹会員 小松かがやき法律事務所
- ・西村 孝貴氏 ドコモショップ加賀店
- ・松本 巖氏 介護老人福祉施設 松寿園



小松市母子寡婦福祉協会 おやくクリスマスパーティ

12月17日(日) 第一コミュニティセンター

昨年度より支援を継続している小松市母子寡婦福祉協会の『おやくクリスマスパーティ』が開催され、小松RACの上出会長、水上幹事と共に、小松RC会員7名が参加しました。ミニ運動会やビンゴゲーム、ハーモニカコンサートなど、約100名の親子で盛り上がりました。終了後にはクリスマスケーキやお米、野菜、日用品など、持ちきれないほど沢山のプレゼントを抱え、参加者の皆さんは大満足の様子でした。



サンタ姿で贈り物
小松RC
小松ロータリークラブ(RC)は16日、小松市第一地区コミュニティセンターで開かれた母子寡婦福祉協会のクリスマスパーティーに参加し、ケーキや日用品のプレゼントを配った。親子35組が招待され、小松RCの大畑清三会長がサンタクロースを装い、子どもにケーキを手渡した。ハーモニカ演奏を中心としたミニコンサートやビンゴゲームで盛り上がった。

令和5年12月18日付け北國新聞朝刊



新幹線川柳 今月の一句

- ・小松駅 夢にまで見た かがやきか 大畑 清三会員
- ・新幹線 全線開通 墓の下 中川 公三会員
- ・はくたかの 速度追い越し 勝った感 石田 拓也会員



12月誕生祝い

18日 山本 省五会員

ニコニコBOXの年間達成目標 2,000,000円 ニコニコBOX12月末の累計金額 850,900円